

おかやま県民文化祭参加行事

岡山後楽園延養亭復元六十周年記念事業

第五十回記念

後楽能

■第一部 十一時半始

独吟・仕舞・舞囃子等

喜多流大島会

■第二部 十四時始

舞囃子 山姥立廻り

観世喜正

狂言 千鳥

島田洋海

能 枕慈童

大島衣恵



観世 喜正
能楽師 シテ方観世流



島田 洋海
能楽師 狂言方大蔵流



有松 遼一
能楽師 ワキ方高安流



大島 衣恵
能楽師 シテ方喜多流

日時

2020年 11月3日(祝) [開場] 11:00

岡山後楽園 能舞台

岡山県岡山市北区後楽園1-5 TEL.086-272-1148

■鑑賞券 一般券 ▶ 5,000円 学生券 ▶ 2,500円 (当日500円増・後楽園入園券付)

[主催] 岡山能楽振興会 [共催] 岡山県 [後援] 岡山県教育委員会 / 山陽新聞社 / 岡山県郷土文化財団

後楽能

令和二年十一月三日(祝)

第一部 十一時半始

独吟・仕舞・舞囃子 等

喜多流大島会

休憩

第二部 十四時始

本日の演目について解説

大島輝久

舞囃子(観世流)

山

姥

立廻り

観世 喜正

大鼓 守家 由訓 太鼓 梶谷 義男
小鼓 横山 幸彦 笛 八木原周平

地謡

桑田 貴志
馬野 正基
田茂井廣道

狂言(大蔵流)

千

鳥

太郎冠者 島田 洋海

主人 山下 守之
酒屋亭主 田賀屋 夙生

後見 柴田 鉄平

能(喜多流)

枕慈童

シテ(慈童) 大島 衣恵

ワキ(勅使) 有松 遼一

ワキツレ(従者) 岡 充

ワキツレ(従者) 原 陸

大鼓 守家 由訓 太鼓 梶谷 義男
小鼓 横山 幸彦 笛 八木原周平

北崎 慎二

吉田 道弘

原田憲太郎

山下 寿水

大島 輝久

大島 政允

内田 成信

■ 曲目解説

■ 舞囃子「山姥」 やまんば

山姥は山奥に棲む鬼女であり、人間を超越した大自然の象徴として描かれる。月光のうちに姿を現した山姥が深山幽谷に暮らす境涯を語り、仏法の深遠な哲理を説き、さらに真の山廻りの様子を表現して舞うと再び山奥へと姿を消すのだった。舞囃子とは面装束を付けず一曲の舞どころを謡、囃子を伴って舞う上演形式です。

■ 狂言「千鳥」 ちどり

主に酒屋へいって酒を買ってくるよう命じられた太郎冠者は「前の支払いが終わっていないので、きつと譲ってはくれないでしょう」と諷言するが、うまく取ってこられたら褒美をやると、無理矢理追い立てられる。案の定、酒屋の主人に前回の支払いが終わらねば渡す事は出来ぬと突っぱねられる。思案した太郎冠者は珍品を好む酒屋の主人に面白い話を聞かせ、その隙について酒をかつばらう事を思いつくが、さてさて、結末は……？

■ 能「枕慈童」 まくらじどう

漢の皇帝の臣下が勅命を受けて、薬水の源を訪ねて酈(てつ)県山(けんざん)にやってくる。菊の花の咲き乱れた山中に美しい童子がいる。素性を問うと、名を慈童といい、ある日過つて帝の枕をまたいだ罪で配流されたが、その時帝に賜つた枕に記された妙文を菊の葉に写して谷川に浮かべると、それがたちまち薬酒になつて七百歳の齢を保つたと語る。舞楽を奏して勅使を慰め、玉の水がめに薬の水を汲んで奉る。伸びやかな楽の舞、永遠の若さへの憧れと菊花のめでたさを描いた祝言の曲。



お問い合わせ 岡山後楽園 TEL.086-272-1148
<https://okayama-korakuen.jp>

岡山能楽振興会(大島) TEL.084-923-2633
<https://www.noh-oshima.com>

チケット販売 岡山後楽園入場券販売 TEL.086-272-1148
喜多流大島能楽堂 TEL.084-923-2633
天満屋バスステーションチケットセンター TEL.086-231-7679
ぎんざやプレイガイド TEL.086-222-3244

後楽能 事前講座@オンラインのお知らせ

上演曲目について、実演を交えて
わかりやすく解説した動画を配信します。

大島能楽堂YouTubeチャンネルにて配信スタート

- 日時 ▶ 10月20日より配信(ご視聴は無料です)
- 出演 ▶ 大島衣恵、八木原周平